

各 位

会 社 名 アズビル株式会社
代表者名 代表取締役社長 曾禰 寛純
(コード：6845 東証第1部)
問合せ先 執行役員グループ経営管理本部長 横田 隆幸
(TEL. 03-6810-1009)

特別損失の計上及び連結子会社の増資・減資並びに連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 3 月期（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）において、下記のとおり特別損失を計上する見込みとなりましたのでお知らせいたします。これに伴い、平成 27 年 10 月 30 日に公表いたしました平成 28 年 3 月期の連結業績予想について下記のとおり修正いたします。

記

1. 特別損失の計上及びその内容

(1) 減損損失（連結）

当社は 2014 年度下期より、連結子会社であるアズビルテルスター有限会社（以下「アズビルテルスター」という）グループについて事業の再構築を進めてまいりました。この結果、中核であるスペインの事業会社の業績は一定の改善を実現してまいりましたが、オランダ及びブラジルの事業会社における業績悪化に伴い、同社グループ事業の将来の収益を見直した結果、同社に係るのれんについて減損損失 3,012 百万円を計上する見込みとなりました。

当社では同社の業績回復のため、以下の 2 項目を含む抜本的な施策を行う予定であります。

- ① オランダにおけるクリーンルーム事業及び装置事業の大幅な見直し
- ② ブラジルにおけるクリーンルーム事業の大幅な見直し

(2) 関係会社出資金に関連する評価損（単体）

上記と同様の理由によりアズビルテルスターへの出資金について実質価額が大きく下落したため減損処理を実施し、同社に対する出資金等について評価損 8,206 百万円を計上する見込みです。なお、本評価損は、連結決算上相殺消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

2. 子会社に対する増資・減資

(1) 増資・減資の目的

平成 28 年 3 月 30 日開催の当社取締役会において、アズビルテルスターの財務体質改善により今後の業績回復を確実なものとし、併せて現地資本規制に対応すべく、同社の増資の引受並びに同社の減資を承認しました。なお、増資額につきましては同社に対して行っている融資の資本への切替を含む総額 15,000 千ユーロ程度となる見込みであり、この増資及び減資の内容については、現地の決算手続きの終了並びに当社取締役会の承認のもと、同社の株主総会の決議を経て、詳細が確定される予定

です。

(2) 増資する子会社の概要

- ① 商号 アズビルテルスター有限会社
- ② 所在地 スペイン共和国カタルーニャ州
- ③ 代表者 Antoni Capella Gali
- ④ 資本金 13,063 千ユーロ
- ⑤ 事業の内容 凍結乾燥装置、滅菌装置、製薬用水装置・蒸気発生装置などの開発・製造・販売及びクリーンルームに関連するコンサルティング、エンジニアリングなど

(3) 増資・減資による連結業績への影響

平成 28 年 3 月期の連結業績への影響はありません。

また、実際の増資・減資が予定されている平成 29 年 3 月期においても、連結業績に与える影響はありません。

3. 平成 28 年 3 月期の業績予想数値の修正（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	百万円 256,000	百万円 17,000	百万円 16,600	百万円 9,500	円 銭 129.69
今 回 修 正 予 想 (B)	256,000	17,000	16,600	6,700	91.47
増 減 額 (B - A)	0	0	0	△2,800	
増 減 率 (%)	0.0	0.0	0.0	△29.5	
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 3 月期)	254,469	15,337	17,141	7,168	97.07

※売上高、営業利益、経常利益の業績予想数値については変更ありません。

修正の理由

「1. 特別損失の計上及びその内容」に記載の通り、アズビルテルスターの業績の悪化及びそれに伴うのれんの減損損失を主因として、平成 27 年 10 月 30 日に公表いたしました平成 28 年 3 月期の業績予想について修正いたします。

なお、今回の業績予想の修正に伴う配当予想の修正はありません。

(注) 業績予想は、本資料発表日において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以 上